



こいにちは。いよいよ新しい時代「令和」の幕開けですね。
令和はどんな時代になるのでしょうかね？ 願わくば
平和で明るい時代になって欲しいです。さて、今日は
5/5 の子供の日にちなみ学生時代の学校行事について
スタッフに聞いてみました。詳しくはこちらをご覧ください↓

ろくぶんの ろく	好きだった学校行事は？
 井川	『はんどん』 土曜日が一番好き 昼からいっぱい遊べる
 小坂	『遠足』 持っていくおやつ、弁当、てるてる 坊主、一大イベントでした
 金岩	『社会科見学』 特殊な機械が見れてドキドキ していました
 三谷	『宿泊体験 合宿』 オリエンテーリングやキャンプ ファイヤーが楽しかったです
 平木	『合唱 コンクール』 他のクラスが歌った、チューリップの 「虹とスニーカー」が全く合唱向きで はなくて、今思い出しても笑えます
 中嶋	『遠足』 お弁当、おやつ、食べ物に弱いです



「データ」と「ランキング」で見る 福岡県って、こんなところ！

基本データ

県庁所在地 福岡市
人口：約 511 万人(2018)
金沢市から約 655.7 km

郷土料理・B級グルメ

- ・水炊き ・もつ鍋
- ・辛子明太子 
- ・博多ラーメン 

- ・タラの購入数量1位 (2017年/1,830g) 
- ・粉ミルクの支出金額1位 (2016年/1,587円) 
- ・タケノコの生産量1位 (2015年/7388.2トン) 
- ・クルーズ船の寄港回数1位 (2018年/279回)
- ・植木・庭の年入れ代1位 (2016年/21,881円)

- ・働く父親の家事参加率47位 (2016年/9.0%)
- ・小学生の朝食摂取率47位 (2017年/93%)



掃除とほうきの歴史



5/30 は「掃除機の日」です。掃除の大切さを呼び
かける日で、元々は「お掃除の日」という名称でした。
大昔の人毛身の回りをきれいにしたり、仏教伝来と
共に、神仏がおられる場を清めるといった行為が
あったとされますが、一般的に「掃除」が根付いたのは
平安時代になってからです。宮中には掃部寮、主殿寮
という掃除専門の部署があり、150~200人ほどの
職員がいました。平安中期の法令集「延喜式」には
「清掃」という言葉が数多く見られ、「道の清掃を
自分たちでやりなさい」「汚物を露出させてはいけない」
など清掃に関する規定が設けられ、これを守らない
場合の罰則もありました。鎌倉時代に入ると禅宗
が中国から伝わり、お寺では掃除が重要な修業の
ひとつになりました。現代でも掃除は人間形成や

道徳的規範としての意味合いを持ち、学校では
子供たち自身が教室の掃除をしています。さて、今の
ように電気がない時代、掃除といえば「ほうき」が
主流でした。鳥の羽を束ねた羽箒に始まり、室町
時代にはほうき売りという職業が現れ、江戸時代の
中頃にはシュロの幹の繊維を用いた棕櫚ほうきや
ホオキモロコシという植物を用いた座敷ほうきが
登場します。その後掃除機の登場によりほうきは
影を潜めましたが、近年電気を使わず騒音や排気
もないエコなほうきは密かな人気となっています。
棕櫚ほうきの繊維には油分が含まれており、
ホコリが舞い上がりやすく、使い続けるうちに畳や
フローリングにツヤが出てきます。また耐水・耐油性に
富んでおり、繊維は柔らかなので畳や床を傷めません。
あなたも「ほうき生活」を始めませんか。(合)便利です！



春の味覚のひとつである「たけのこ」は、桜前線のように南から順に福岡・徳島・和歌山・京都と出荷されていき、石川県が大規模な産地としては**最北限**になります。県内に**孟宗竹**が植栽されたのは明和3年(1766年)で、加賀藩足輕の岡本右太夫が江戸から2株持ち帰り、自宅(寺町付近)に植えたのが始まりです。しかしこの2株は枯れてしまい、4年後に再度持ち帰り植えたものが根付き、金沢南部を中心に広がっていきました。石川県産のたけのこは粘土質の土と、雪の下でゆっくり育ったため節と節の間が詰まり、柔らかくアツがけがないという特徴があります。たけのこを煮物にする際に**昆布**と一緒に煮るのは**北陸地方**だけで、全国的には**ワカメ**と一緒に煮ます。とろけた昆布、美味しいですよ。(☆)

♪!♪ あなたの5月の運勢 ♪!♪

1月生まれ	健康に自信のある人ほど気をつけて。川さな不調のうちに対処を。
2月生まれ	集中力が高まり遅れ気味の事を進められそう。
3月生まれ	新しく出会った人とのコミュニケーションを大切に。
4月生まれ	保留だった事が動き出しそう。慌てないように。
5月生まれ	何事もしつこくならないように。サバサバした対処が身を助ける。
6月生まれ	寝耳に水的な出来事に感情的にならないで。
7月生まれ	重箱の隅をつつくようなことを避けて、大らかに。
8月生まれ	高そうに見えるハードルでも、どうにか超えられそう。
9月生まれ	周囲に弱い人がいたら手伝いを買って出よう。
10月生まれ	同じ失敗を繰り返さないよう行動前に点検を。
11月生まれ	とてつもない行旅でトラブルをまき散らさないように。
12月生まれ	今日のちょっとしたチャンスはのちの大きなチャンスになる。

今月のラッキーさんは、**2月**生まれの方です☆(*´▽`)ﾉ♪

読者の方にお試し価格で鑑定♪ 20分 2,000円より
連絡先 090 (2099) 9318 myk1124@yahoo.co.jp

◇Yのりれき◇

初めての六夜連続のM社会教育講習会も無事終了しホッとして、これでもう明日から仕事に専念してやっつけようと思った。が、しかし講習会の骨子は「人間の考え方や心の動き方には三通りあるということ」「その積み重ねによって原因結果を生み、幸運・不運の成立につながっている」ということだった。それでは自分自身のこれまでの過ごし方のどこが間違っていたのかを、当てはめてみなければならぬ。今現在が過去の結果であり、その原因が不完全であれば今後不運が続いていく。今ここで自分の過ごし方において改良点を確認し、方法を変えていかねば、ますます不運の道を歩んで行ってしまうことに気づかされた。

振り返ってみれば、現在の仕事は親に一度も相談することもなく、独断で決めて説明もなくスタートした。「今度から独立して仕事を始める」と言っただけであった。もちろん目的はお客様である各種商店さんの店舗が繁盛して頂くため、喜んで頂くための仕事を目指し、ひいては自分たちも安定して発展していきたい、そして両親や家族に安心と満足できる暮らしの手助けを少しでもしてあげたいという目標を持ち、決断した次第であった。なぜ親に相談しなかったのか？それは、父は某大学の校務員を長年しており、商売人ではなく勤め人だという私の先入観があつて相談をしなかった。



(一方良し?)

独立当時の資金は乏しく、住まいは間借り生活でスタートした。大工職人で二、三人の職人を抱え、建築請負業を営んでいた義父は、間借りをする他人さんの家に嫁入り道具を持って入るのは気兼ねであるから、必要最低限の物を揃えるようにと嫁入り道具代として現金を渡してくれた。道具よりもどんなに有難かつたことか。家内も子供ができるまではパートの真似事や、工夫をして暮らし向きを支えてくれた。独立や自営に対しては「いいも悪いもわからない。付いてくしか他にないわ」であった。義父には数か月後の盆参りの時に、独立したと事後報告した。その義父から頂いた嫁入り道具代が、独立資金の大きな助けとなった。

発行元：株式会社健工舎イガワ

〒921-8164 金沢市久安4丁目17番地
TEL 076-242-3910 FAX 076-242-3915



いー家じゅくろ

HP いーじホーム



HPも
見てね



今月のひとりごと

2019年5月1日より平成から令和に年号が変わります。紀元前660年2月11日神武天皇が即位されてから2679年が経ち、126代目の天皇につかれます。新しい年号になり益々日本の国の為になることは何かを考え、精進していきたいと思ひます。井川 徹

